

# 滋賀大学教育学部附属幼稚園

のりだす・ゆきかう・みつめる いまを生きる ー共に育つ幼稚園ー

## ■特色ある取組

- 主体的、対話的で深い学びのための環境・教材を精選した保育活動
- 子育て相談、子供の遊びや育ちの理解に向けた保護者支援
- 国立教育課程センター／幼小連携「教育課程研究指定校」
- 県内公立幼稚園、こども園のニーズに応えた研究及び研修

## ■研究テーマ「わくわくの創造」

### ー3歳児からの学びをつなぐ教育課程ー

遊びを中心にした幼児期の生活を児童期の「学びの基礎」と捉え、具体的な活動や体験を重視した保育を実践しています。幼児が「わくわく」して、自発的に遊ぶ中で培われる学びの「過程」を大切にして、保育の質を高める努力をしています。そのために、幼児の活動を的確に観察しつつ、小学校までの接続的な教育課程に資する環境構成を心がけています。



## ■国立教育課程研究センター指定校【幼小連携】

### 幼児期から児童期への学びをつなぐ、カリキュラム開発

#### ー子供の育ちの姿を軸にした、円滑な接続を図る指導の工夫ー

平成29・30年度の2年間、国立教育課程センターの校種間連携指定校として、本幼稚園では、附属小学校と連携して、幼児期から児童期への学びをつなぐ「接続モデル」開発を目的にしたカリキュラム研究を行っています。県・市の教育委員会の協力を得ながら、資質・能力の3つの柱をふまえつつ、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の10観点を軸にして、小学校生活科を手がかりとしてスタートカリキュラムを作成しています。



## ■地域を先導する実践と研究

### ■研修・実習・研究の場としての機能を果たす

県内外の幼稚園、こども園、保育園の各ニーズに応じて、本幼稚園では園長・副園長を中心にして園内研修での指導や講話を積極的に行っています。特に地域貢献として、大津市の幼稚園に先駆けて本園は、3年保育を導入しているために、地域のモデル園としての役割を果たしています。

また、国内だけでなく、海外の大学教員・研究者の視察もあり、特に公開研究会では、県内及び県外からも多くの参加者があります。

一方、学部附属として教育実習はもちろん、学生・院生による観察実習や卒業・修論研究、大学教員の研究フィールドとして活用されています。



菜の花摘み



アクリル板に描く



砂場遊び

〒520-0817

滋賀県大津市昭和町10番3号

電話:077-527-5257

FAX:077-527-5262

<http://www.fk.shiga-u.ac.jp/>

園長: 新関伸也

副園長: 塩見弘子(担当)